



# ユーザ、ユーザ ロール、およびグループの管理

この章は、次の内容で構成されています。

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [ユーザ アカウントの作成 \(3 ページ\)](#)
- [オンライン ユーザの表示 \(4 ページ\)](#)
- [ユーザの最近のログイン履歴の確認 \(4 ページ\)](#)
- [ユーザのセッション制限の設定 \(5 ページ\)](#)
- [ユーザ ロールの追加 \(6 ページ\)](#)
- [ユーザ グループのブランディング \(7 ページ\)](#)

## 概要

Cisco IMC Supervisor は、次のシステム定義のユーザー ロールをデフォルトでサポートしています。

- **[System Admin]** : ユーザの追加を含むすべての権限を持つユーザ。Cisco IMC Supervisor の管理者は、システムが提供するユーザー ロールまたはカスタム定義のユーザー ロールをユーザに割り当てることができます。後で、割り当て済みのロールの情報を確認することもできます。次の割り当てを行うことができます。
  - システムのカスタム ユーザ ロールを作成し、このロールを持つ新しいユーザ アカウントを作成するか、既存のユーザにロールを割り当てます。  
新しいユーザ ロールの作成時に、そのロールを管理者またはオペレータのロールにするかを指定できます。ユーザ アカウントの作成の詳細については、[ユーザ アカウントの作成 \(3 ページ\)](#) を参照してください。ユーザ ロールの作成の詳細については、[ユーザ ロールの追加 \(6 ページ\)](#) を参照してください。
- 既存のユーザ ロール (デフォルトのロールを含む) を変更し、そのロールに関連付けられているユーザのメニュー設定と読み取り/書き込み権限を変更する。

ロールのメニュー設定と権限の変更手順は、ユーザ ロールの作成時の手順と同じです。

- **[Group Admin]** : すべての権限を持つユーザ。システム定義のユーザー グループ **[Default Group (デフォルト グループ)]** は、Cisco IMC Supervisor ではデフォルトで使用できます。グループ管理者として、ユーザアカウントを作成してこのグループに割り当てたり、作成済みのグループにユーザ アカウントを割り当てたりできます。ユーザは複数のユーザ グループに属することができます。ただし、最後にユーザが追加されたグループは、そのユーザのデフォルトのプライマリ グループとして設定されます。
- **[Operator]** : システム管理者のロールタイプは **admin** であるため、アクセス制限 (メニュー設定とユーザ権限) の任意の組み合わせを使用して、既存の **Operator** ロールを必要に応じて変更できます。デフォルトでは、以下のメニュー設定とユーザ権限が **Operator** に割り当てられます。

| メニュー設定  | ユーザ権限  |
|---|--|
| システム : <ul style="list-style-type: none"> <li>• インベントリと障害のステータス</li> <li>• 物理アカウント</li> <li>• ファームウェア管理</li> <li>• サーバ診断</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 読み取り : 物理コンピューティング</li> <li>• 書き込み : 物理コンピューティング</li> <li>• 読み取り : システム管理者</li> <li>• 読み取り : ユーザ</li> <li>• 読み取り : タグ ライブラリの読み取り</li> <li>• 書き込み : タグ ライブラリの書き込み</li> <li>• 読み取り : オーケストレーション</li> <li>• 書き込み : オーケストレーション</li> </ul> |
| ポリシー : <ul style="list-style-type: none"> <li>• スケジュールの管理</li> <li>• API とオーケストレーション</li> </ul>                                     |  |
| 管理 : <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザとグループ</li> <li>• 統合</li> </ul>   |  |



(注) [SCP User Configuration]、[Authentication Preferences]、および [Password Policy] などのレポートは、[Users and Groups] の下で **Operator** ロールに対して有効になります。

# ユーザ アカウントの作成



(注) [Edit User] ダイアログボックスの [User Role] および [Login Name] フィールドは編集できません。

## 手順

**ステップ 1** [Administration] > [Users and Groups] の順に選択します。

**ステップ 2** [Users] をクリックします。

**ステップ 3** [Add] をクリックします。

**ステップ 4** [Add User (ユーザーの追加)] ページで、次のフィールドに入力します。

| フィールド                                     | 説明  |
|---|---|
| [User Role] ドロップダウンリスト                    | [Group Admin]、[Operator]、または[System Admin] を選択します。  |
| [User Group] ドロップダウンリスト                   | ユーザがアクセスできるようにするグループを選択します。すでに使用可能なグループを選択することも、新しいグループを追加することもできます。<br><br>(注) このフィールドは、ユーザ ロールとして [Group Admin] を選択している場合にのみ表示されます。 |
| [Login Name] フィールド                        | ユーザのログイン名。  |
| [Password] フィールド                          | ユーザのパスワード。ユーザに対して Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) 認証が設定されている場合、パスワードはローカル サーバではなく、LDAP サーバでのみ検証されます。                     |
| [Confirm Password] フィールド                  | 前のフィールドと同じパスワードを入力します。  |
| [User Contact Email (ユーザの連絡先電子メール)] フィールド | 電子メール アドレス。   |
| [First Name] フィールド                        | (オプション) ユーザの名。  |
| [Last Name] フィールド                         | (オプション) ユーザの姓。  |
| [Phone] フィールド                             | (オプション) ユーザの電話番号。   |

| フィールド           | 説明                  |
|-----------------|---------------------|
| [Address] フィールド | (オプション) ユーザの物理アドレス。 |

ステップ 5 [Add] をクリックします。

ステップ 6 [OK] をクリックします。

## オンラインユーザの表示

現在オンラインであるユーザを表示するには、次の手順を実行します。

### 手順

ステップ 1 [Administration] > [Users and Groups] の順に選択します。

ステップ 2 [Current Online Users (現在のオンライン ユーザー)] をクリックします。

現在 Cisco IMC Supervisor にログインしているユーザのユーザ名、IP アドレス、セッション開始時刻などの詳細を確認できます。

## ユーザの最近のログイン履歴の確認

システム管理者は、すべてのユーザーの最近のログイン履歴を確認できます。システムは、すべてのログイン試行に関する次の情報を記録します。

- Login Name
- Remote Address
- クライアントの詳細
- クライアント タイプ
- Authentication Status
- 注
- アクセス日

### 手順

ステップ 1 [Administration] > [Users and Groups] の順に選択します。

**ステップ 2** [ユーザとグループ (Users and Groups) ] ページで [すべてのユーザのログイン履歴 (All Users Login History) ] をクリックします。

**ステップ 3** 画面に表示される情報を確認します。

## ユーザのセッション制限の設定

ユーザ インターフェイスのセッションおよびシステム上でユーザが開始できる REST API 要求の数を設定できます。

### 手順

**ステップ 1** [Administration] > [Users and Groups] の順に選択します。

**ステップ 2** [ユーザとグループ (Users and Groups) ] ページで、[セッション管理 (Session Management) ] をクリックします。

**ステップ 3** [セッション管理 (Session Management) ] 画面で、次を含む必須フィールドに値を入力します

| 名前   | 説明  |
|--|---|
| [ユーザあたりのセッションの最大数 (Maximum Sessions Per User) ] フィールド                              | ユーザごとにサポートされる同時 GUI セッションの最大数。1 ~ 128 の範囲内の数を入力してください。<br>デフォルト値は 16 です。    |
| [ユーザあたりの同時 REST API 要求の最大数 (Maximum Concurrent REST API Requests Per User) ] フィールド | ユーザごとにサポートされる同時 REST API 要求の最大数。1 ~ 256 の範囲内の数を入力してください。<br>デフォルト値は 128 です。 |

**ステップ 4** [Submit] をクリックします。`

### 次のタスク

ユーザがこの画面で指定した制限値を超える GUI セッションまたは REST API 要求を開始すると、[システム メッセージ (System Messages) ] 画面にエラー メッセージが表示されます。このシナリオでは、ユーザが自分のセッションや API 要求をクリアするか、または管理者がシェルユーティリティを使用してユーザのセッションや要求をクリアします。詳細については、『Cisco IMC Supervisor Shell Guide』を参照してください。

## ユーザロールの追加

新しくインストールされた Cisco IMC Supervisor アプライアンスでは、デフォルトで **[GroupAdmin (グループ管理者)]** と **[Operator (オペレータ)]** ロールが使用可能になっています。グループ管理者のロールタイプは **admin** であるため、アクセス制限（メニュー設定とユーザ権限）の任意の組み合わせを使用して、既存の **Operator** ロールを必要に応じて変更できます。同様に、次の手順のように新しいロールを作成し、それらのロールにユーザを割り当てることもできます。

### 手順

- ステップ 1 **[Administration]** > **[System]** を選択します。
- ステップ 2 **[User Roles]** をクリックします。
- ステップ 3 **[Add]** をクリックします。
- ステップ 4 **[Add User Role (ユーザーロールの追加)]** ページで、**[User Role (ユーザーロール)]** ペインの次のフィールドに入力します。

| フィールド                         | 説明                     |
|-------------------------------|------------------------|
| <b>[User Role]</b> フィールド      | ユーザロールの記述名。            |
| <b>[Role Type]</b> ドロップダウンリスト | <b>[Admin]</b> を選択します。 |
| <b>[Description]</b> フィールド    | (オプション) ユーザロールの説明。     |

- ステップ 5 **[Next]** をクリックします。
- ステップ 6 **[Menu Settings]** ペインで、必要なメニューオプションを選択します。  
メニューオプションを選択するには、メニュー設定フィールドの横のチェックボックスをオンにします。
- ステップ 7 **[Next]** をクリックします。
- ステップ 8 **[User Permissions]** ペインで、必要な操作を選択します。  
操作を選択するには、操作の横のチェックボックスをオンにします。
- ステップ 9 **[送信 (Submit)]** をクリックします。  
(注) ユーザロールを編集、複製、削除することもできます。

# ユーザ グループのブランディング

ユーザ グループの Cisco IMC Supervisor アプリケーションをカスタマイズするには、次の手順を実行します。選択したグループに属するユーザがシステムにログインすると、カスタマイズされたページが表示されます。

## 手順

**ステップ 1** [Administration] > [Users and Groups] の順に選択します。

**ステップ 2** [User Groups (ユーザ グループ)] をクリックします。

**ステップ 3** ユーザ グループを選択します。

**ステップ 4** [Branding] をクリックします。

**ステップ 5** [Group Branding (グループ ブランディング)] ページで、次のフィールドに入力します。

| フィールド                               | 説明  |
|-------------------------------------|---|
| [Logo Image] チェックボックス               | オンにすると、ロゴがアプリケーションの左上隅に表示されます。                  |
| [Application Labels] チェックボックス       | オンにすると、アプリケーションのラベルがアプリケーションのヘッダー セクションに表示されます。 |
| [URL Forwarding on Logout] チェックボックス | オンにすると、ユーザはログアウト時に指定された URL に転送されます。            |
| [Custom Links] チェックボックス             | オンにすると、カスタムリンクがアプリケーションの右上隅に表示されます。             |

**ステップ 6** [送信 (Submit) ] をクリックします。

